

2022年1月8-10日 聖岳

参加メンバー：若奈 L、倉澤、野中、岩田

### 1日目：晴れ

正月山行として、飯田市側の登山口である柴沢ゲートから聖岳を登ってきた。

前日の南岸低気圧による降雪から、もしかしたら登山口に着けないかも…と心配していたが、問題なく下栗の里を通過。登山口に着くと3台の車が待機していた。3人組のパーティーが先行するが、易老度より光岳へ進んだ模様。聖岳方面へトレースはなかったため、我々が先行者となる。

2018年の台風以降、荒れてしまった林道は、便ヶ島までは車が入れるほどしっかりと修復されている。しかし、まだ車での乗り入れが出来ないことが非常に残念。便ヶ島から西沢渡までは崩壊している箇所もあるが、慎重に通過すれば問題はなかった。しっかり3時間も雪の付いた林道を歩き、いよいよ登り始める。

天気も良く、気温も高いため、暑く汗が噴き出てスピードが上がらない。所々、足場の悪いところがあり滑落防止用なのかネットが張られていた。アニマルトレースが良い感じに、夏道を辿っており、おかげで踏み外すことなく標高を上げることが出来た。翌日は、風速20m/sを超える強風が予想されるため、樹林帯2060mの苔平に幕営し、水作りに専念した。

### 2日目：晴れ強風

3時起床。既に風の音がする中、外を伺いながらゆっくりと支度し、出発。昨日は、我々しかいなかったはずなのに、先にトレースがある。2200m付近にもう1パーティー、ベースを張っていた。トレースはここで終わり。結局、この日も我々が先行者となる。

薊畑から小聖岳までは積雪が増すため、薊畑にて輪カンを装着。ペナントを見つけ、上手く古いトレースに乗ればそんなに潜ることはないが、体力を減らされる。20代若者と50代大型新人の2人が頑張っって先行し、トレースを付けてくれた。

森林限界2600mで輪カンからアイゼンに切り替えた。森林限界を超えると、やはり風が強い。しかし、耐風姿勢を取るほどでもないため、先に進む。山頂に近づくにつれ、風は強さを増すため、風の呼吸に合わせて少しずつ進む。上部は特にクラストしていなかったが、岩肌が出ている箇所もあった。落石をしないように、雪が付いているところを狙って進んだ。

山頂は、予報通りの激しい強風で長居出来ず、あっという間に下山した。お昼頃に幕営地に戻ることが出来、暖かい外でティータイムとした。

### 3日目：晴れ

3時起床。3日間お世話になった幕営地を片付け、アイゼンを付け下山。あっという間に西沢渡まで降り、行きに乗ることが出来なかったゴンドラで遊ぶ。結果的に、疲れる乗り物なので行きに乗らなくて良かった。

便ヶ島から歩いていると、猿が上部を通り落石させている。落石されないように気を付け、足早に通り過ぎた。

柴沢ゲートに着くと、塩カルが付着した岩田さんの車だけ鹿に舐め回されていた。

### [コースタイム]

1日目：柴沢ゲート 6:55 発 - 便ヶ島 9:10 - 西沢渡 10:20 - 苔平(2060m)14:40 着(幕営)

2日目：幕営地 4:50 発 - 薊畑 6:25 - 小聖岳 8:45 - 聖岳 10:05 - 小聖岳 11:10 - 薊畑 12:10

- 幕営地 12:50 着

3 日目：幕営地 4:40 発 - 西沢渡 6:20 - 便ヶ島 7:20 - 柴沢ゲート 8:55 着

①3000m が遠い



②輪カンを付けて登る



③小聖岳



④少しずつ標高を上げる



⑤強風の聖岳



⑥ゴンドラで遊ぶ

